

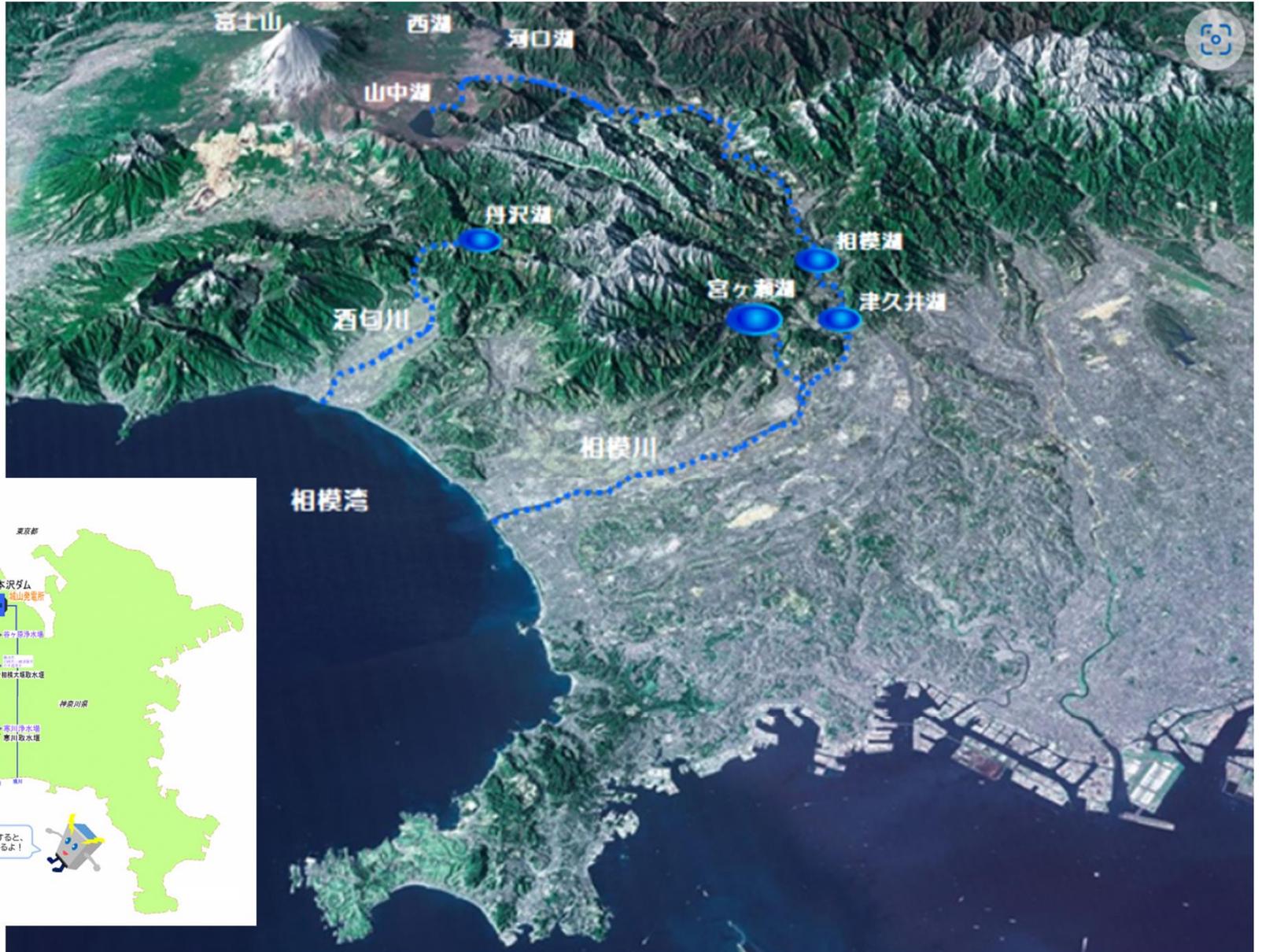
宮ヶ瀬湖周辺地域の取組み紹介

～かながわの水がめ 宮ヶ瀬における
地域活性化・水源環境理解促進の取組み～

令和7年6月5日

公益財団法人 宮ヶ瀬ダム周辺振興財団

1-1 かながわの水がめ



1-2 宮ヶ瀬湖周辺地域の成り立ち

■ 宮ヶ瀬ダム

昭和44(1969)年 ダム計画の発表
平成13(2001)年 宮ヶ瀬ダム完成

■ 宮ヶ瀬湖周辺地域

平成 4(1992)年 宮ヶ瀬ダム貯水池周辺地域整備基本計画



水源地域として湖の水質及び周辺環境の保全を
最優先としつつ、周辺地域の振興や活性化を図る

⇒ 3 拠点 (宮ヶ瀬湖畔地区、鳥居原地区、ダムサイト・あいかわ公園地区) に
開発地域を限定し整備



1-3 宮ヶ瀬ダムと周辺施設等の歴史的経過

宮ヶ瀬ダム

当財団設立や周辺施設の設置

昭和44(1969)年 ダム計画の発表

【約30年の歳月】

平成 3 (1991)年

ダム本体コンクリート打設開始

平成4 (1992)年

宮ヶ瀬ダム貯水池周辺地域整備基本計画の策定

財団法人宮ヶ瀬ダム周辺振興財団設立

平成 7 (1995)年 カヌー一場設置

平成10(1998)年 やまなみセンター設置

平成11(1999)年

宮ヶ瀬湖畔園地 (集団施設地区) 供用開始

水とエネルギー館設置

平成13(2001)年 宮ヶ瀬ダム完成

平成12(2000)年 鳥居原ふれあいの館設置

平成14(2002)年 あいかわ公園供用開始

平成21(2009)年 工芸工房村設置

平成23(2011)年 財団法人から公益財団法人へ移行

平成29(2017)年 日本版DMO※に登録

※現在名称 観光地域づくり法人 (地域連携DMO)

参考

水没移転者

281世帯、1,136名

代替地 (集団移転先)

A代替地 (清川村宮の平) 一般住宅

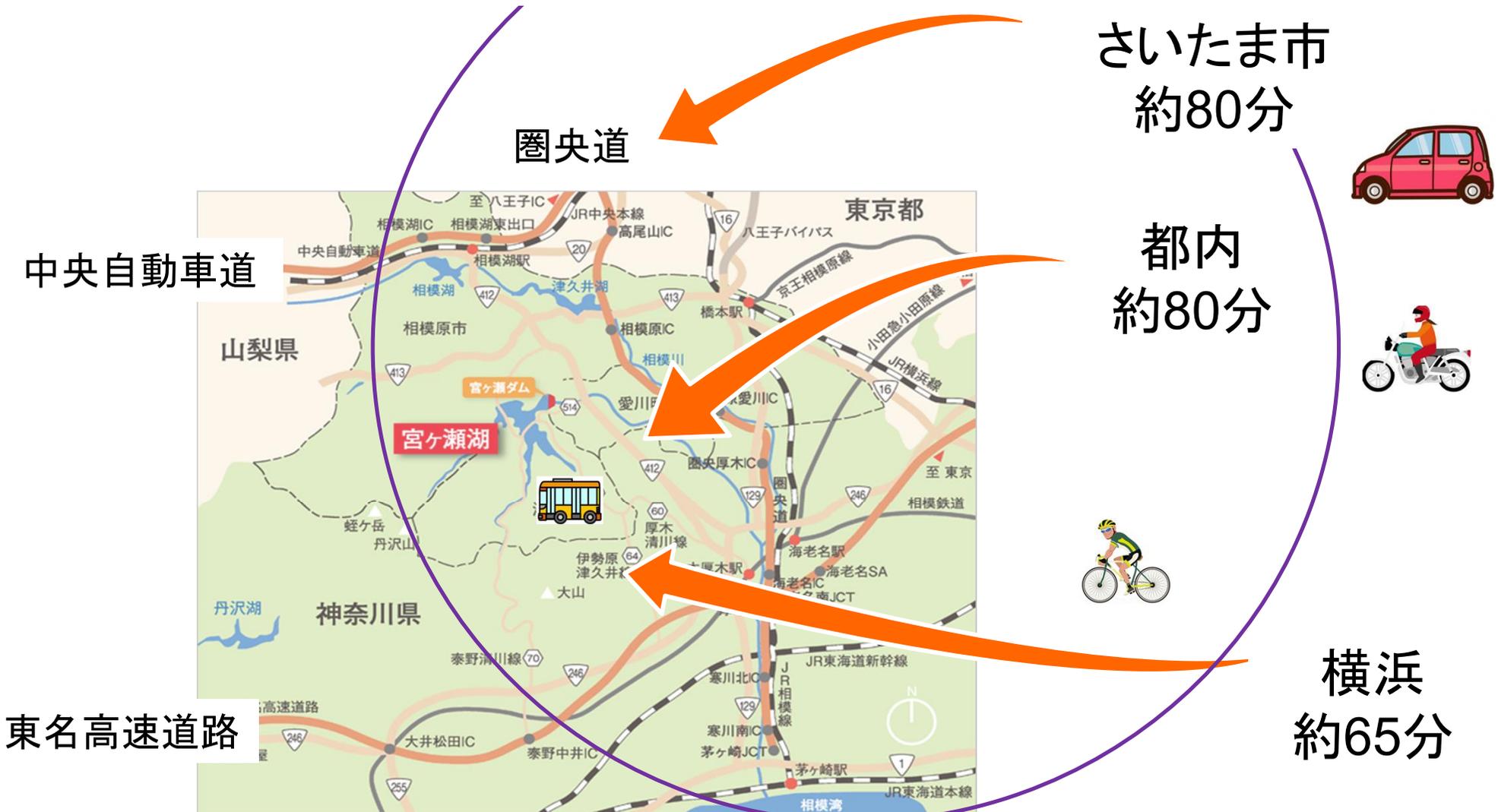
B代替地 (清川村水の郷) 観光関連店舗

C代替地 (厚木市宮の里) 一般住宅

1-4 財団経営理念・DMO法人登録内容

<p>設 立</p>	<p> 設立日 平成4(1992)年10月 出捐者 18団体 (行政6、民間7、団体5) 基本財産 15億2千万円 観光地域づくり法人 (地域連携DMO) 登録 平成29(2017)年11月 </p>
<p>設立目的 (経営理念)</p>	<p> 県民の水源環境に対する理解を促進すること及び宮ヶ瀬湖周辺地域の活性化を推進することにより、都市と水源地域・人と自然の交流・共存による宮ヶ瀬湖周辺地域の振興と発展に寄与すること。 </p>
<p>登録内容 (DMO法人)</p>	<p> 宮ヶ瀬湖周辺地域は「宮ヶ瀬ダム」「宮ヶ瀬湖」を中心とした水源地域として、自然環境の保全を最優先としつつ、周辺地域の振興や活性化を図ってきた。 DMO法人として、官民や市町村の垣根を越え、多様な関係者と連携し、都心から50kmの利便性、充実したダム湖周辺の施設や魅力あるイベント、市町村にまたがる観光資源などを活用し、交流人口の増加に繋げる。 </p>
<p>DMO法人とは ※観光庁</p>	<p> 観光地域づくり法人は、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する地域経営の視点に立った観光地域づくりの司令塔として、多様な関係者と協働しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人 </p>

2-1 宮ヶ瀬湖周辺地域の立地条件



電車・バスの公共交通機関は脆弱だが、道路網の整備により首都近郊の広域圏からもアクセスがしやすい

埼玉・東京から50~60キロ
横浜・川崎から30~40キロ

2-2 コロナ禍を経た来訪者の動向

宮ヶ瀬湖周辺 3 拠点における施設利用者数の推移

区 分	宮ヶ瀬湖畔地区	ダムサイト地区	鳥居原地区	合 計
令和元年度	586,350	722,445	122,739	1,431,534
令和2年度	268,826	432,348	78,220	779,394
令和3年度	395,206	429,772	77,889	902,867
令和4年度	545,093	701,125	95,755	1,341,973
令和5年度	567,591	721,237	127,084	1,415,912
令和6年度	522,134	741,180	158,459	1,421,773

イベント等の開催制限、施設や乗物等の閉鎖・運休、参加者数や利用者数の制限
 ⇒ 150万人前後で推移してきた3拠点の施設利用者数がコロナ禍で半減
 コロナ禍前の状態に回復

3-1 宮ヶ瀬クリスマスみんなのつどい

例年 11月下旬から12月25日まで開催

R5年度	第37回	16万人
R6年度	第38回	16万人

高さ約30メートルの自生のもみの木の
イルミネーションがシンボル



平成元年／1989年頃初期のツリー

平成7年／1995年頃 ダム建設中

3-2 宮ヶ瀬ダム観光放流

年間70回程度

観光放流 4月～11月下旬
毎週水曜日、第2日曜日、第2、4金曜日等

宮ヶ瀬ダムナイト放流 10月下旬



R5年度	年間	6万3,386人、	ナイト放流	1,200人
R6年度	年間	6万2,840人、	ナイト放流	1,200人

3-3 通年・分散型イベント ～みやがせフェスタ～

いつ訪れても楽しめる宮ヶ瀬をコンセプトに、四季折々の特色を生かし、年間を通じて宮ヶ瀬の自然や様々な体験を楽しめるイベント



- ◇春「みやがせ花めぐり」4～6月
- ◇夏「サマーアカデミー」7～9月
- ◇秋「みやがせオータムパーティ」10～11月
- ◇冬「宮ヶ瀬バレンタイン」12～3月

R5年度	年間	フェスタ 7万4,000人、ハロウィン・バレンタイン等3,910人	計77,910人
R6年度	年間	フェスタ 7万5,000人、ハロウィン・バレンタイン等3,100人	計78,100人

3-4 大規模・集中型イベント

水源環境の理解促進、地域活性化の推進として、宮ヶ瀬湖畔園地「けやき広場」などを会場に、多様な関係者が一堂に会するイベント

宮ヶ瀬湖周辺イベント情報 2024.11月

宮ヶ瀬SDGsピクニック

2024年11月9日(土) 10日(日) 11:00~15:00
会場 宮ヶ瀬湖畔園地けやき広場 湖岸町3-1-140

楽しみの体験
・1000人参加のダンス
・ダンス体験
・ダンス体験
・ダンス体験

スポーツ体験
・ダンス体験
・ダンス体験
・ダンス体験
・ダンス体験

1000人体験に挑戦
・ダンス体験
・ダンス体験
・ダンス体験
・ダンス体験

ダンス体験
・ダンス体験
・ダンス体験
・ダンス体験
・ダンス体験

ダンス体験
・ダンス体験
・ダンス体験
・ダンス体験
・ダンス体験

ダンス体験
・ダンス体験
・ダンス体験
・ダンス体験
・ダンス体験

小田急線「本厚木駅」から神奈中バスで約60分
料金がお得な「宮ヶ瀬ダムハイキングバス」をご利用ください

(公財)宮ヶ瀬ダム周辺振興財団

持続可能な開発目標 (SDGs) を踏まえ、宮ヶ瀬の美しい自然環境の中で、CSR (SDGs) 事業に取り組んでいる周辺の団体等と連携し、「健康づくり」「スポーツ体験」「環境教育」などのテーマを設けたイベント



3-5 ツアー型イベント

宮ヶ瀬湖畔園地での自然体験等のほか、服部牧場やダム監査廊の見学など、宮ヶ瀬周辺の観光資源や施設を巡るツアー型のイベント

宮ヶ瀬エリアや水源地の魅力を知ってもらう体験型のイベントとして開催し、参加者自らが「観光大使（アンバサダー）」となって宮ヶ瀬の魅力を発信、宮ヶ瀬リピーターとなってもらうことを目的に実施

「小田急まなたびde社会科見学ツアー」

R6年度 2日間 75人



本厚木駅→服部牧場→宮ヶ瀬ダムインクライン→宮ヶ瀬ダム水とエネルギー館→レイクサイドカフェ→宮ヶ瀬ダム監査廊特別見学→宮ヶ瀬湖畔園地（商店街食べ歩き）→オギノパン

「宮ヶ瀬子どもアンバサダーになろう！」バスツアー

R6年度 小学生とその保護者7組14人



伊勢原駅→宮ヶ瀬湖畔園地（自然観察）→遊覧船ミーヤ丸→レイクサイドカフェ→宮ヶ瀬ダム水とエネルギー館→宮ヶ瀬ダム監査廊特別見学→インクライン→鳥居原園地（薪割り体験）→『宮ヶ瀬子どもアンバサダー認定書』贈呈！

3-6 親水池・宮ヶ瀬湖カヌー一場

親水池



カヌー教室など
初心者向け



自然観察



地域のお祭り

R5年度 年間利用2,052人
R6年度 年間利用1,807人

宮ヶ瀬湖カヌー一場

湖面での競技
レベルアップ



紅葉レガッタ



R5年度 年間利用5,195人
R6年度 年間利用5,093人

3-7 宮ヶ瀬やまなみセンター・ミーヤ館

やまなみセンター
・ 1階研修会議室、2階展望室の様子



みやがせ おえかき



星空観測会



サマーアカデミーみやがせ

やまなみセンター
R5年度 年間利用139,830人
R6年度 年間利用172,439人

新たなミーヤ館での魅力発信
・ クラフト体験のパッケージ商品化
・ まちかどピアノ (Lakesideピアノ)

クラフト体験
⇒パッケージ商品化
季節ごとに変化



森のえんぴつ作り



森と湖の自然環境の中
でのストリートピアノ



受付・売店

ミーヤ館
R5年度 年間利用109,628人
R6年度 年間利用 27,190人(7月~3月外壁更新工事、一部機能をやまなみセンター移転)

4 ダムサイト・宮ヶ瀬ダム水とエネルギー館

ダム建設の経緯や水資源の大切さを学ぶ



水とエネルギー館
日曜レクチャー



電気ゾーン



水道ゾーン



498段のフーチング階段開放



水辺のコンサート



2階ギャラリー

R5年度	水工ネ利用者	149,551人
R6年度	水工ネ利用者	149,426人

5-1 あいかわ公園

宮ヶ瀬ダム直下の公園で
水や風とおもいきり遊ぶ

R5年度 年間利用者 428,383人
R6年度 年間利用者 444,675人



つつじまつり

ふわふわドーム



風の丘



約40種類、44,000本 つつじ

じゃぶじゃぶ池

こども広場・だれもが遊べる遊具



自然観察ガイド

冒険の森

5-2 工芸工房村

郷土の伝統工芸を体験し、楽しく・学ぶ



愛川町郷土資料館



R5年度 体験者数 13,310人
R6年度 体験者数 14,348人

6 鳥居原園地・鳥居原ふれあいの館



ツアー・オブ・ジャパン相模原ステージ



物販コーナー・食堂



クラフト市



まき割り体験



R5年度 利用者127,084人
R6年度 利用者158,459人

7 広報・宮ヶ瀬PR



広域圏への情報発信 様々な媒体



宮ヶ瀬DMOエリア内の様々な観光スポットを舞台にドラマが展開、地元の方も出演

都市部でのPR活動



YouTubeチャンネル配信



県庁舎公開イベント



川崎競馬場 水源地域キャンペーン



川崎駅アゼリア 水源地域キャンペーン

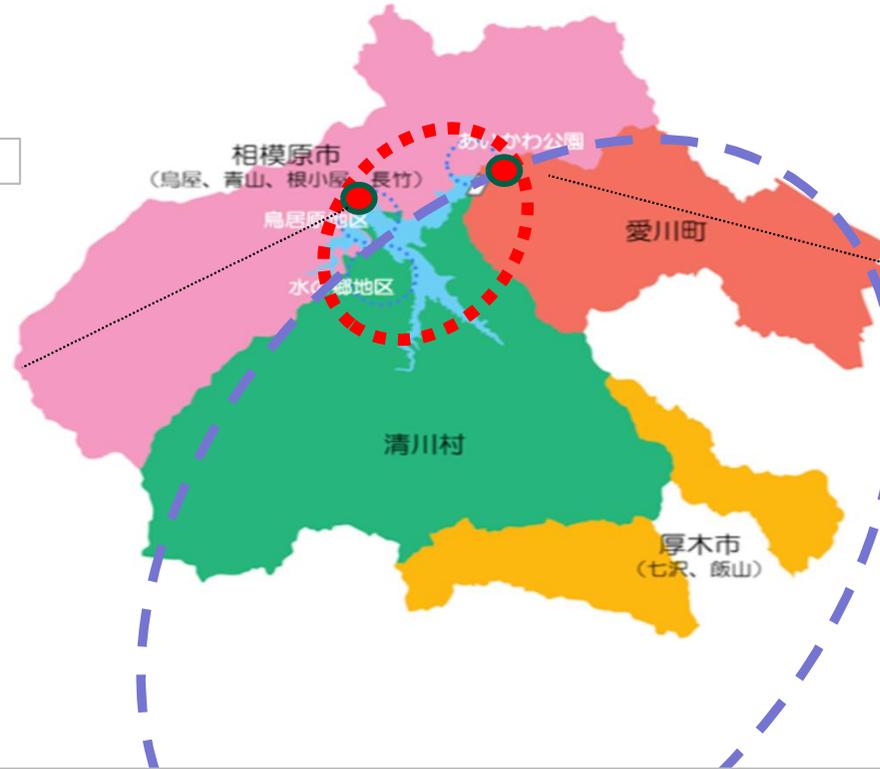
8-1 宮ヶ瀬湖周辺地域を取り巻く環境の変化

相模ダムリニューアル事業
インフラツーリズム（総合運用）



神奈川県企業庁ホームページより抜粋

複数の市町村にまたがる
観光地域づくり法人（地域連携DMO）



リニア中央新幹線の神奈川駅の整備
さがみロボット産業特区



神奈川県ホームページより抜粋
中央新幹線品川・名古屋間工事実施計画(その1)に一部加筆

リニア中央新幹線の関東車両基地の整備



観光・産業連携拠点づくり事業



愛川町ホームページより抜粋

新東名高速道路の整備



伊勢原大山IC:
静岡などの西
方面から宮ヶ
瀬へのアクセ
ス向上
横浜湘南道路
等整備: 湘南、
横浜南部方面
からの宮ヶ瀬
へのアクセス
向上

E1A 新東名高速道路（海老名南
JCT～御殿場JCT）連絡調整会議
（第5回）説明資料より抜粋

「県央やまなみ地域における広域連携の強化に関する協定」
厚木市、秦野市、伊勢原市、愛川町、清川村の5市町村が地域全体の活性化を図り、将来にわたって発展し続ける魅力あふれる地域社会の創造に寄与する
・広域観光圏の確立及び観光資源のブランド化
・地域高規格道路、県道の整備促進などに取り組む



東名高速道路

8-2 中長期経営計画及び数値目標について

自治体の観光計画等と連携したビジョン、目標値

KGI (Key Goal Indicator)
KSF (Key Success Factor)
KPI (Key Performance Indicator)

計画年度
令和7(2025)年度から
令和12(2030)年度まで

KGI (最終的な数値目標)

DMOエリア内観光客数	5,186千人
DMOエリア内観光消費額	1,633,956千円



周辺市町村では
観光客数増、観光消費額増を
数値目標として設定

ターゲット層を定め、経営戦略視点 (望ましい姿) の提示

KSF (KGI達成の定性的な要因)

首都圏近郊の家族連れ客等の
リピータを確保、更なる誘客を実現
マス顧客 (今のお客様を大切に)

KSF (KGI達成の定性的な要因)

スポーツ・レクリエーション
愛好家、体づくり・健康志向派の
誘客、アクティビティ体験充実

KSF (KGI達成の定性的な要因)

新たな顧客層の開拓
滞在・広域周遊型、訪日外国人など
の誘客、観光消費額のアップ

観光地域づくり法人 (地域連携DMO)、県指定管理と連動した効果測定可能な数値目標

KPI (KSFを定量化した数値目標)

3拠点来訪者満足度	98%
3拠点リピータ率	90%

KPI (KSFを定量化した数値目標)

3拠点施設利用者数	159万人
3拠点イベント数	600回

KPI (KSFを定量化した数値目標)

DMOエリア内延べ宿泊数	125千人
3拠点来訪者の広域化率(県外)	30%
財団事業運営収益	153,398千円

財団の財務指標、経営基盤強化目標

9-1 官民、地域の垣根を越えた連携推進・実績

① ダム貯蔵食材・ダム貯蔵酒のプロデュース

観光地域づくりの一環として、年間を通して温度が10度前後という管理用トンネル内に、周辺の農産物等や地元酒蔵の日本酒を貯蔵し、「ダム貯蔵」という過程を経ることで、自治体を超えた枠での商品展開や知名度の向上が期待できるブランディングを展開し、新たな魅力ある名産品としてなるようプロデュースします。



この事業は、第10回かながわ観光大賞「審査員特別賞」を受賞しました。



9-2 官民、地域の垣根を越えた連携推進・実績

②宮ヶ瀬オリジナル商品等のプロデュース

宮ヶ瀬ダム、歴史遺産、伝統工芸といった宮ヶ瀬湖周辺地域の観光資源を活用した「ご当地土産」を考案・販売し、宮ヶ瀬湖周辺地域アピールするとともに、観光消費額増加に貢献するもの



通常版



ナイト景観版

第1弾 宮ヶ瀬ダム御堰印（ごせきいん）・宮ヶ瀬ダム手ぬぐい



第2弾 自分でつくれる御城印「愛川町 田代城」

9-3 官民、地域の垣根を越えた連携推進・実績

③地域クーポンの発行

D M Oエリア内の店舗、施設などで優待を受けられるクーポンを、事業者の協力・連携により発行

連携・協力 施設、店舗等

- ・ 商店街、道の駅、レストラン、牧場、パン工場、酒蔵、乗り物など

- ・ 小田急電鉄の本厚木駅を中心とした約10駅においても配布・広報

R5年度 62ヶ所 1万部発行
R6年度 66ヶ所 1万5千部発行



クーポン 三つ折りのA4サイズ

ご清聴ありがとうございました

